



おお…ッ!?!♥♥♥
いい…ぞお…ッ!

なかなか
上手いじゃ
ないかあ…♥

あの小娘は…ッ!
人材にも恵まれて
おるなあ♥
…くうッ♥

こんな…ッ
いい使用人ペットを
飼っておるん
だからなあ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

しかし主人に
敵が多いと
使用人も
大変だなあ？

どうだ？
まだ男の竿の味も
知らんような
小娘なんぞ捨てて

ワシのところに
来んか？
報酬は弾むぞ？

ンッ！…
ぶはあッ！
だ…だれ…が…ッ

んふう…！
…お断り…んんッ！
…します…ッ！

それは残念だなあ♥
毎晩こうして…ッ
可愛がってやるぞお？

バッ！
はっ！

ハッ！



上も下も仕込んで
ワシ好みの
使用人にしてやるん
じゃがなあ♡

ほれほれ♡
続きはどうした？
もっと丁寧に入入れを
してもらわんと
終わらんぞ？

辛いんじゃないか？
若い男と甘い青春を
謳歌している主人と
比べて…使用人の
自分ときたら…

ブル♡
ブル♡
ザザザザザ♡
ざち♡

ん♡
うん♡

ん♡
ん♡
ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

主人のためとはいえ
こんな中年の竿の入れ
までさせられて…
たまったものでは
ないよなあ？
ぐふふ…♡

はあはあ：♡どうだあ？
ワシ専用の使用穴：
いや使用人になる件は
考えてくれたかなあ？

四宮の小娘より
報酬は
弾むぞお？

ブルブル

くは♡
は♡

じゅ

ビュビュ

おげり

…ッ！

お…
お断りします

クラッ

あの…ッ！
本当にこれで
例の件は…！

…それはお前の
態度次第だなあ？

それより
もう一度聞くが

フルフル

本当に四宮家の
使用人の穴を
使用させてもらっても
構わんのかねえ…？

クニクニ



アハハハ

ザッ...

…ッ!



うっ…うっ…うっ!

ど…ど…
ど…ど…
ど…ど…!

ハハハッ!
そうかぁ♡

では遠慮なく
使用させて
もらおうか…



あ

ねえ...ツ
♡
♡

ア

あ
あ
♡
♡
♡

ぐちゃ
♡
♡
♡

ぐちゃ
うう
♡
♡

♡
♡



んんん

ぐうう…ツ♥
締まる
しまるう…♡♡

はっははあ!
しっかり
啜え込みおって♥

んんん

ぎゅ

キゅ♡

ちゅ♡♡

だがさすがは
四宮家よ!
良い犬を
飼っておるわ!

んんん

あうい

んんん

うんうん…♡

主人の命令の
ためなら自分の
メス穴を差し出すのも
いとわらないの
だからなあ?♡

まったく
お前の主人も
無茶な命令を
するのう？

やはりワシに
乗り換えんか？

ワシなら
可愛い使用人に
こんな接待を
させるような
ことはせんぞお？

ん？

うん

いっ！

パニ
パニ
ちゅー
キッ
ス
ス
ス

毎晩こうして
大事に…ううッ♡
たっぷり♡
可愛がって
やるのになあ？

ハァハァ

キッス♡

…ッ！
…誰が…ッ！

ん…ッ

それに…ンッ
これはかぐや様の
命令ではなく

私の独断で…ッ
んっ…！

そうだろうなあ？
あの処女臭い
小娘は何も
知らんのだろうさw

あ…ッ

あ…ッ♡

自分の飼いだ
がどうやって
お使いをこなして
きているのか…ヒヒヒ♡
ハマ♡

ギッ♡
パッ♡
スッ♡



自分の知らない所で
メスの身体を使って
仕事してると知ったら
軽蔑されるかのお？

なんなら後日
あの小娘にこの
メス穴の感想を
伝えておいて
やろうかw？

…ッ?!
ダメッ!

ハッ

や…やめ…!!
やめてください…!!
それだけはあ…!!



ならせめて
そうだなあ？

今夜だけでも
ワシの使用人として
哀願してもらおう
かのお？

ムムム

言ええ…！

『膣内ちかに出して下さい
ご主人様♡』
…となあ♡

えッ…
な…ッ

ドクッ

膣内ちかって…!!
そんなの…ダメえ!!!
イヤよ…そんな…ッ



いいのなあ？
例の件…ワシに
融通してもらいに
来たんだらう？

いやだと
言うなら…
♡
ヒヒヒ

ア
ギン

ア
ぐう…
くっ



なか
腔内に…ッ
だ…出して
くだ…さい！

ご主人…様…

ムムム…



はあーっはっはあ！
そうかあなか臆内なかに
出して欲しいかあ？

じゃあワシが
人使いの荒い
お前の主人に
代わって

褒美のチップ子種を
やろうなあ♥

おん
当た

遠慮せず
受け取れよお♥
ウウツ♥
出る出るうーッ♥

ブルブル

ギッ

バズ

あ

ちゅ

ギッ

